**ボーダレス教育プログラム：Research progress meeting報告書（第1回）**

氏　名：　　　　　　　　　　　　　　　所属・学年：

学籍番号： e-mail：

主担当教員：署名（所属）

副担当教員：署名（所属）

副担当教員：署名（所属）

面接年月日：

1. 研究テーマについて

・研究テーマが具体化していない場合は、概要でかまいませんので記載をしてください。

2．次回のmeetingまでの目標

・現時点での目標を明確にすることが目的なので、次回までに研究テーマが変更になっても問題ありません。

・meetingは年1回程度を想定していますが、2回目の実施時期は研究の進捗状況に合わせて調整して下さい。論文を書き始める時期でのmeetingをお願いします。積極的にmeetingをすることを推奨します。回数が多い場合、必ずしも毎回報告書を提出する必要はありません。ただし、単位認定のためには2回の提出が必須です。論文を書き始めていなくとも、3年次の10月には2回目の報告書提出が必要です。

3．大学院入学後の学会・論文発表など：すでに研究を開始している場合のみ記載

　（学会発表、論文発表などの業績は研究情報データベースに入力すること）

**研究を行うにあたり必要な手続きの確認書**

提出年月日：

学籍番号：　　　　 　　　　　　　　　　学生氏名：

主担当教員氏名：

以下1.～11.について、現時点での状況を報告して下さい。

**【倫理基準の遵守について】**

1.「研究活動上の不正防止ハンドブック」を**理解し**、綴じ込んでいる誓約書を提出したか

**＊未提出の場合は至急提出して下さい。**（はい ・ いいえ）

**【実施予定の研究について】**

下記については学内（あるいは学外）委員会等による承認、または学内委員会等による承認を受けている申請書類にあなたの名前が明記されていることが必要です。また、論文執筆の際は承認を受けたことを論文中に明記することが必要です。

以下の質問で**「はい」と答えた項目については指導教員に実験計画の申請状況を確認**して下さい。

２．遺伝子組み換え実験を含むか　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　（はい ・ いいえ ・ 未定）

３．動物実験を含むか　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（はい ・ いいえ ・ 未定）

４．病原微生物等利用実験を含むか　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（はい ・ いいえ ・ 未定）

「はい」の場合：以下のうち該当するものを✓して下さい。

□レベル２ □レベル３ □毒素

5. 特定病原体等利用実験を含むか　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（はい ・ いいえ ・ 未定）

６．ヒトES細胞を用いる実験を含むか　　　　 　　　　　　 　　　　　　　（はい ・ いいえ ・ 未定）

７．ヒトiPS細胞を用いる実験を含むか　　　　　　　　　　　　　 　　　　　（はい ・ いいえ ・未定）

８．ヒトゲノム遺伝子解析研究を含むか　　　　　　　　　　 （はい ・ いいえ ・ 未定）

９．ヒト（もしくはヒト由来検体・情報（臨床情報等を含む）等）を対象とする研究（疫学研究を含む）を含むか　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （はい ・ いいえ ・ 未定）

10．再生医療等提供計画（第１種から第３種）を含むか　　 　（はい ・ いいえ ・ 未定）

11.　利益相反自己申告書を提出したか　　　　　　　　　　　　　 　　（はい ・ いいえ）

以上